

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅲ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
曜日・時間							
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる 自分自身が学ぶ目的を持てる							
【授業を通じての到達目標】							
トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について						
2							
3							
4						40点	
5	オリエンテーション② クラス内役割について 就職活動について						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	各担任
学科・コース	トータルビューティ科・全コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
		【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)					
【目的】 自分の将来を考え、社会人、企業人として、仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。 経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を養う。 「社会人基礎力」前に踏み出す力 (①主体性 ②働きかけ力 ③実行力)、考えぬく力 (④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力) を身に付ける。 【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】 ・社会人として仕事をスムーズに進められる方法、社会人として対応できる知識を理解する。 ・社会人としての知識を身につけ、説明できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具、授業用ファイル (配布した使用はファイリングのうえ持参)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【到達目標】目標を立てる (人生100年時代・自分の人生を計画する) 自分の未来について考え目標を立て、一年間の心構えを持つ。						
2	【到達目標】交流会のメニュー表を作る 1,2年生の交流会に実施する内容を決定しメニュー表を作成する						
3	【到達目標】自己PRが言えるようになる 面接時に自分の強みを知り、人に伝えられる。					4 点	
4	【到達目標】主体性を理解し物事に進んで取り組む力を理解する 主体性を客観的に見つめ過去の選択の振り返りをする						
5	【到達目標】主体性で見つけた自分を相手に伝えることができる 自分の想いを30秒で伝えることができ、グループワークでは相手の話を受容できる。					4 点	
6	【到達目標】働きかけ力を理解する 自分の意見を相手に伝えることが出来、グループワークで答えがだせる。						
7	【到達目標】中間試験 1～7 週まとめを理解し説明できる。					中間テスト 20 点	
8	【到達目標】将来の目標が言えるようになる 面接時に自分の目標を、人に伝えられる。						
9	【到達目標】ドリームMAPを作りグループで発表ができる 自分の将来やりたいこと、持ちたいもの、一枚の紙にまとめ相手に伝えることができる。					4 点 (持ち物) はさみ、のり、雑誌の切り抜き	
10	【到達目標】実行力を理解する 一ヶ月でチャレンジしたいことを考え実行する上での障害や対処法を考えられる。						
11	【到達目標】課題発見力を理解する 課題発見と解決に向けたプロセスを明らかにする。					4 点	
12	【到達目標】計画力を理解し自分の計画を立てる 計画をしたことで上手くいったことを知り、自分の計画パターンを知る。						
13	【到達目標】創造力を養い色んな発想法に触れる 連想ゲーム、クリップワーク、くっつけワークを通してアイデアをだす。					4 点	
14	【到達目標】社会人基礎力を理解し一番必要なものを話し合える (6 種類) 職場で多様な人々と仕事をしていくための力を理解し、自分の目標とリンクすることができる。						
15	【到達目標】定期試験 定期試験の返却と解説					定期試験 60 点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A 評価 (90～100点) /B 評価 (80～89点) /C 評価 (70～79点) D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) /F 評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	トレンド研究Ⅲ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻就職に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4						40点	
5	企業授業実施 (メイク・ネイル・エステ・ファッション) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	1・2年生交流会 1 and sophomore Meet-the-people session	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石渡・中村・黒谷
	学科・コース トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 1	開講区分	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 両学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる 【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。 【授業を通じての到達目標】 2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具 スマートフォン				帰宅での調べ課題			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1・2年生交流会に向けて自分たちのコースが学んできた技術・知識を整理する①						
2	1・2年生交流会に向けて自分たちのコースが学んできた技術・知識を整理する②						
3	1～2回の授業で整理した内容の中から交流会に適した題材を決める						
4	3回目の授業で決めた題材に対して、自分たちオリジナルの施術メニュー・内容を構築する①						
5	4回目の授業で決めた題材に対して、自分たちオリジナルの施術メニュー・内容を構築する②						
6	構築した施術メニュー・内容を1年生に披露する①						
7	構築した施術メニュー・内容を2年生に披露する②						
8	6～7回の授業で施術をした1年生に事後アンケートを行い自分たちの施術メニュー・内容の満足度を調査する						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)			

科目名 (英)	コンテスト対策	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
顧客に対して施術を施しコンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業単元】コンセプト作成及び仕込み 【到達目標】・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む・コンセプトシートを基に、反復練習を行い仕上げるができる						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	授業単元】コンテスト発表 【到達目標】・コンセプトシートを基にネイルを施す・制限時間内で仕上げるができる 【評価】審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする						
10							
11							
12							
13							
14							
15						100点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A 評価 (90～100点) / B 評価 (80～89点) / C 評価 (70～79点) D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) / F 評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択授業	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中澤
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
希望職種の中から選択し、技術の幅を広げることができるようになる 今回は着付け初伝について実施をする 講師は山野流着装教室にて講師を10年以上経験している							
【授業を通じての到達目標】							
美容職に必要な技術を選択し、技術の幅を広げられるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
適宜指示				自宅学習もあり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 希望選択について						
2	小紋の着付けと帯結び					5点	
3	体型補正から振袖長襦袢の着付け						
4	着物の本たたみ					5点	
5	名古屋帯のたたみ方						
6	帯揚げの結び方						
7	帯締め結び方						
8	中間試験					20点	
9	ミスの第一礼装:振袖の知識を覚える						
10	・体型補正から振袖長襦袢の着付け					5点	
11	振り返り①						
12	振り返り②						
13	準備の仕方から小紋の着付けまで						
14	総仕上げ					5点	
15	定期試験					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	コスメティック研究演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿保幸菜(向後幸菜)
学科・コース	TB科 メイクコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分 曜日・時間	前期 (火) 2限 2-1 4限 2-2
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約6年の美容部員経験(国内大手化粧品メーカー・百貨店勤務)を経て、美容メディアの企画・編集・執筆といった美容に関する専門知識を生かした情報発信に従事し、美容業界に16年携わってまいりました。日本化粧品検定1級。メイクアイテム・ヘアケアアイテム・フレグランスに関しての種類や基本知識、具体的な使用方法についての知識をお伝えします。							
目的: お客様に対し適切な商品選択ができるために働きや効果について理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
化粧品ブランドで取り扱う幅広い化粧品アイテムについての知識を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料				日々、SNSやYouTubeのインフルエンサーによる発信だけでなく、実店舗、雑誌、インターネットなどで化粧品に触れたり、調べたりすることでさまざまなブランドや商品を知るように心がける。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業内容を理解する。メイクアップベースの種類・特徴・使用方法を理解する。					2	
2	ファンデーションの種類・特徴・使用方法について理解する。					1	
3	コンシーラー・フェイスパウダーの種類・特徴・使用方法について理解する。					2	
4	アイブロウアイテム アイシャドウの種類・特徴・使用方法について理解する					1	
5	アイライナー マスカラの種類・特徴・使用方法について理解する。					2	
6	コントゥアリングアイテム チーク リップアイテムの種類・特徴・使用方法について理解する。					1	
7	UVケア化粧品の種類・特徴・使用方法について理解する。					1	
8	中間試験					20	
9	香水の香りの変化、香水のつけ方と注意点・香りの持続時間を理解する。					1	
10	香水の主分類・副分類について理解する。					1	
11	防臭化粧品の機能と種類について理解する。					2	
12	男性の肌の特徴を理解する。男性化粧品(髭剃り関連)の種類と特徴を理解する。					2	
13	シャンプーの界面活性剤の種類と特徴・成分を理解する。 リンス・コンディショナー・トリートメントの成分を理解する。					2	
14	薬とサプリメントの違いを理解する 肌トラブルと有効な栄養成分について理解する。					2	
15	定期試験					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブランド別メイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	深井
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	前期
学科・コース						曜日・時間	(水)1・2限 3・4限
20年以上メイクアップの仕事に関わってきました。複数の美容専門学校で10年以上教育にも携わっております。技術の土台となる基本的なスキンケアやメイクテクニックのみではなく、マナーなどの知識もお伝えします。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。(深井) 目的:フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。概要:テキストに基づいてメイクをする際のポイントや注意点を覚え、相モデルでの反復練習と技術チェックで基本のフルメイク技術を学ぶ。JESCメイク検定科目でもあるが様々なメイクができるようになるためには重要な基本技術である。							
【授業を通じての到達目標】							
様々なブランドの化粧品や歴史、コンセプト、商品について理解できるようになる。 イメージやシーズンに合わせたメイクアップを仕上げることができ、現場で必要なメイクアップ技術、お客様一人一人に合った提案力を身に付けることが出来る。また、コスメに合わせたデザインを提案できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイクアップ道具一式、筆記用具、配布プリントファイル等							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業の流れ説明 フェイスチャートの描き方を学ぶ 技術チェック					1	
2	外資系ファッションブランド CHANELの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
3	外資系ファッションブランド YSLの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
4	外資系ファッションブランド DIORの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
5	外資系アーチストブランド BOBBI BROWNの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
6	外資系アーチストブランド MACの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
7	中間試験 ブランドのメイク(フェイスチャートあり)					実技20点	
8	国産系アーチストブランド SHU UEMURAの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
9	国産系コスメブランド SHISEIDOの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
10	国産系コスメブランド KOSEの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
11	国産系コスメブランド ALBIONの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
12	外資系コスメブランド ESTEE LAUDER の歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
13	国産系コスメブランド SUQQUの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
14	国産系ブランド LUNASOL の歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
15	定期試験 ブランドのメイク＆フェイスチャートあり					実技60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	トレンドメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	福島裕司 佐藤翔子
	TrendsMake	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	前期
科・コース	トータルビューティ科 メイクコース					曜日・時間	月曜 1.2.3.4 限 2クラス
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容業界で20年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。セミナーや教育など様々な現場で美の提供をしながら活動している教員が、美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。 美容業界は流行の流れが速い為、常に最新の情報や製品などを知ることがとても重要です。							
【授業を通じての到達目標】 業界のトレンドを学ぶ。今までのトレンドや最新のトレンドの知識やテクニックも身に付けていく。 トレンドのコスメ商品の体験をしたり、トレンドメイクアップの違いを理解出来る。 授業後半には コンテストに対しての集中講座を行います。 お客様に対してのカウンセリングの中でトレンドを入れた提案やメイクアップを知ることが出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイクアップ道具一式、筆記用具、配布プリントファイル等 フェイスシールド				美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。 演習後は技術の復習をし、より確実に身に付ける事が望ましい。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	トレンドを知る メイクバランスを理解する 技術チェック					1点	
2	トレンド スキンケアを知りメイクアップテクニックを学ぶ①					1点	
3	トレンド スキンケアを知りメイクアップテクニックを学ぶ②					1点	
4	トレンド スキンケアを知りメイクアップテクニックを学ぶ③					1点	
5	トレンドを理解してメイクデザインを考える①					1点	
6	トレンドを理解してメイクデザインを考える②					1点	
7	中間テスト トレンドメイク＆フェイスチャートあり					20点	
8	ファッションのトレンドを知りメイクアップを学ぶ①					1点	
9	コンテスト概要説明、基礎テクニックの復習					1点	
10	コンテストに向けて① トレンドを知り、メイクアップテクニックを学ぶ					1点	
11	コンテストに向けて② フェイスチャートを作成してメイクアップを相モデルで実習する					1点	
12	デパートコスメ 秋の商品 リサーチ グループ発表					8点	
13	コンテストに向けて③ フェイスチャートを作成してメイクアップを相モデルで実習する					1点	
14	コンテストに向けて④ フェイスチャートを作成してメイクアップを相モデルで実習する					1点	
15	期末テスト コンテスト用の メイクアップを相モデルで実習しプレゼンまで行う					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	販売ロールプレイ演習		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿保幸菜(向後幸菜)	
学科・コース	TB科 メイクコース		授業 形態	実技	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分 曜日・時間	前期 (火) 1限 2-1 3限 2-2	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)									
美容部員として約6年、国内高級化粧品ブランド・都内大手百貨店で得た接客販売スキルと、美容ライターとして培ってきた業界の幅広い知見、言語表現力を生かし、現場で即戦力となる接客技術をお伝えいたします。 目的:「ただ商品を売る」「マニュアル通りに紹介する」ではない、基礎知識の引き出しをきちんと持ち合わせた上でオリジナリティのある接客を行えるような発想力と立ち居振る舞いを身に着ける。									
【授業を通じての到達目標】									
お客さまの肌をカウンセリングし、気がかり、肌状態、嗜好などから、「なりたい肌」を叶えるための接客ロールプレイングができるようになる。									
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】				
講師作成資料									
回	授 業 概 要						テスト配点		
1	皮膚構造に関する基礎知識でカウンセリングができる。						1		
2	代表的なスキンケアブランドの特徴、おすすめポイントを言える。						1		
3	各シーズンごとのお手入れポイントの説明ができる。						1		
4	<肌悩み別ロープレ> 乾燥が気になる方へのカウンセリング〜クロージングができる。						1		
5	<肌悩み別ロープレ> 毛穴が気になる方へのカウンセリング〜クロージングができる。						1		
6	<肌悩み別ロープレ> シミ・くすみ・クマが気になる方へのカウンセリング〜クロージングができる。						1		
7	<中間テスト 筆記 20点> 肌悩み・嗜好・季節などからセルフカウンセリングを行う。						20点		
8	<肌悩み別ロープレ> エイジングサインが気になる方へのカウンセリング〜クロージングができる。						2		
9	代表的なスキンケアアイテムをキャッチフレーズと短文で魅力的に伝える。						2		
10	コットンやスバチュラを使い、美しい所作で心地よいスキンタッチができる。						2		
11	セールストークのポイントを理解する。						2		
12	お互いに褒める練習を行い、相手のいい所を見つけて伝えられるようになる。						2		
13	よく使われるスキンケア成分を理解する。						2		
14	テストに向けた、カウンセリングの台本作成						2		
15	<定期試験 筆記 60点> スキンケアカウンセリングを5分で行う。						60点		
【特記事項】					【評価について】				
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点				
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

科目名 (英)	販売促進メイクII	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保
学科・コース	トータルビューティ科メイクコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)		開講区分 曜日・時間	月曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。メイクアップに理由付けが出来るようになる。							
【授業を通じての到達目標】 限られた時間で、完成度の高いメイクを完成させる事が出来る様になる。自身の施したメイクのプレゼンテーションが出来る様になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	フルメイク、時間内仕上げ					5	
2	フルメイク、時間内仕上げ						
3	フルメイク、プレゼンテーション(個人)						
4	フルメイク、プレゼンテーション、フェイスチャート					5	
5	フルメイク、プレゼンテーション(グループ)						
6	コンセプトシート作成、メイク試作						
7	中間テスト フルメイク 時間内仕上げ					20	
8	フルメイク、プレゼンテーション、フェイスチャート						
9	フルメイク、プレゼンテーション					5	
10	フルメイク、時間内仕上げ						
11	与えられたテーマに沿って似合わせメイク(指定の化粧品をフォーカス)						
12	与えられたテーマに沿って似合わせメイク(指定の化粧品をフォーカス)					5	
13	与えられたテーマに沿って似合わせメイク(指定の化粧品をフォーカス)						
14	コンセプトシート作成、メイク試作						
15	定期試験(フルメイク、タイム取り)					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	年代別メイクアップ&テクニック演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	関 亜沙美
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクアップアーティストやビューティアドバイザー、またサロンメイクなどのメイクアップの教育に30年間携わって参りました。また企業や一般の方向けのパーソナルメイクのインストラクターも行っておりました。将来、皆さんがメイクアップを生業としていく上で必要な理論、知識、技術、礼節などをお伝え致します。 目的:メイクアップに関わる者として必要である化粧品やメイクアップの起源、歴史を調べ、学ぶ。また『歴史は繰り返す』を念頭に、近現代に於ける年代別の時代背景(社会の情勢)と様々な出来事、その時代に流行ったメイクアップ、風俗、ファッションやヘアスタイル、カルチャー、音楽、映画やその時代を代表する人物などを知り、各時代の雰囲気を捉えた上で、知識とメイクアップテクニックを身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
化粧の起源や各年代の時代背景、メイクアップの流行を把握し、現場に出る前の基礎知識を身につける。また1年生で学び修得してきた基本的なパーツメイクの組み合わせを駆使し、応用させて1920年代、1950年代、1960年代、1970年代、各年代のメイクアップパターンを理解し、時代の雰囲気の表現、また左右対称の仕上がりを目標に、テクニックを向上させる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式 筆記用具 年代別メイク専用ファイル&ノート				各年代に於ける時代背景や出来事、流行のメイクアップ、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画、人物などについてレポート提出			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	①化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップ等レクチャー②映画鑑賞&感想レポート					①レポート提出②感想レポート提出 4点	
2	1920年代の時代背景と流行の メイクアップ 等を理解 把握する					レポート提出 2点	
3	デモストを見聞し1920年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 1点	
4	実技を通して1920年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
5	1950年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。					レポート提出 2点	
6	デモストを見聞し1950年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 1点	
7	実技を通して1950年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
8	中間試験					相モデルにてフルメイク 20点	
9	1960年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。					レポート提出 2点	
10	デモストを見聞し1960年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 1点	
11	実技を通して1960年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
12	1970年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。					レポート提出 2点	
13	デモストを見聞し1970年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 1点	
14	実技を通して1970年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
15	定期試験					相モデルにてフルメイク 60点	
【特記事項】 授業の構成上、通常は中間試験を7回目に行いますが、年代別メイクの授業では8回目に行います。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	コンテスト	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
顧客に対して各コースで学んだ施術を施しコンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	コンセプト作成及び仕込み 【到達目標】・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む・コンセプトシートを基に、反復練習を行い仕上げることができる						
2							
3							
4							
5	【授業単元】コンテスト発表 【到達目標】・コンセプトシートを基に施術を時間内で仕上げることができる 【評価】審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする						
6							
7							
8						100点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル検定演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	戸川智尋 滝本陽子
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜・1～4時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
スクールでのネイルの教育に20年以上携わってきました。 現在はサロンの研修所での教育にも携わっています。 日本ネイリスト協会常任本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管経験、JNAジェルネイル検定試験管経験を活かし、合格へ繋がる検定試験の専門知識と専門技術をお伝えします。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではネイルサロン、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わってきました。 様々な経験を活かし、将来皆さんがネイリストとして働く際に役に立つサロンワークで実践できる技術、知識をコンテスト作品、卒業制作を通じてお伝えします。 ネイリスト歴15年、講師歴11年。 ネイルサロンでは店長として人事や教育に携わってきました。 現在は個人サロンを運営する傍ら複数の専門学校やネイルサロンでの技術指導を行っています。 その経験を活かし、より実践的な技術、知識をお伝えします。 またコンテスト作品制作ではコンテスト入賞経験を活かし、繊細なアートを指導していきます。							
※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施							
概要： この科目では ジェルネイル技能検定試験中・上級を通じてサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ネイリスト技能検定試験2級を通じてサロンワークで通用するネイルケア、リベア、チップ装着、アートの技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ネイリスト技能検定試験1級を通じてサロンワークに必要なイクステンション、リベア、アートの総合的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける コンテストを通じて様々なジェルアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける サロンワークに必要な基本的なアートを修得する 就職に向けてサロンワークのルーティーンを身に付ける マシンでのプレパレーション、フィルイン、ジェルオフの修得							
【授業を通じての到達目標】							
ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる アートを繊細に仕上げるができる コンテスト練習を通して様々なデザインの模倣から独自のデザインを生み出すことができる 接客用語、ジェルの説明を習得し、活用する事ができる マシンでのプレパレーション、フィルイン、ジェルオフを安全に施術することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	シラバス、コマシラ読み合わせ ネイリスト技能検定試験 2級、1級 検定対策 タイムトライアル 仕込み30分 2級： ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題：ケア【35分】 ◆第二課題：チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級： トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中薬指 ◆左手スカルプチュア5本 ◆(アート右手人差し指)【150分】 目標：2級1級ともに時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できていて実践できる						
2	コンテスト練習 エアブラシ チップ使用 ◆使用方法 ◆ファンカラー(べた塗り) ◆グラデーション ◆マスキング ◆簡単な洗浄方法 ◆分解洗浄デモのみ 目標：エアブラシの仕組みを理解し、組み立てる順番を覚え実践できる 洗浄方法を覚え、実践できる レバーの調節ができムラなく塗布できる 分解洗浄方法を覚える						
3	コンテスト練習 エアブラシ チップ使用 ◆使用方法 ◆ファンカラー(べた塗り) ◆グラデーション ◆マスキング ◆簡単な洗浄方法 ◆分解洗浄デモのみ 目標：エアブラシの仕組みを理解し、組み立てる順番を覚え実践できる 洗浄方法を覚え、実践できる レバーの調節ができムラなく塗布できる 分解洗浄方法を覚える						
4	コンテスト(サロン)練習 ジェルアート (チップ小) ◆ラメグラデーション ◆縦グラデーション ◆タイダイ ◆べっ甲(ホイール) ◆大理石 ◆ミックスカラー ◆濃色グラデーション(グラデーションブラシ) 目標：サロンワークに必要な基本のネイルアートのブラシワーク、バランスを覚えて、丁寧に繊細に施術ができる						小テスト2点

5	ジェルネイル技能検定試験中級 検定対策2日目 タイムトライアル 第一課題30分(相モデル) ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ※2級合格者は免除 第二課題85分(トレーニングハンド) 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはムラなくラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 合格ラインで時間に収めることができる	中間テスト20点
6	コンテスト(サロン)練習 ジェルアート (チップ小) ◆斜めフレンチ+ラメライン ◆バルーンフレンチ+ラメライン ◆ハーフフレンチ+ラメライン ◆マーブル2種類 目標:アートのブラシワーク、バランスを覚え実践できる	小テスト2点
7	コンテスト(サロン・ジェル上級)練習 トールペイント (ブラクティスハンド用チップ) ◆グラデーションフラワー(絵の具 ジェル) ◆ジェル検定上級フラワー 目標:トールペイントのグラデーション技法を覚える コンマストロークでフラワーがバランスよく描ける コンテスト作品制作 デッサン デッサンをもとにジェルアートピンポイント練習 (ブラクティスハンド用チップ コンテスト用ロングチップ)	小テスト2点
8	サロンワーク座学 1.ジェルネイル製品について 2.衛生管理チェック表 3.接客8大用語 4.接客用語 5.カルテ&同意書 6.ジェルネイルを安全に楽しむために) 7.口述確認 8.売上表1. 2 目標:サロンワーク相モデル練習(来週)までに接客用語を覚えてくる サロンワークのルーティンを把握する コンテスト作品制作 デッサン デッサンをもとにジェルアートピンポイント練習 (ブラクティスハンド用チップ コンテスト用ロングチップ) 目標:反復練習をして丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる	小テスト2点
9	サロンワーク座学 1.ジェルネイル製品について 2.衛生管理チェック表 3.接客8大用語 4.接客用語 5.カルテ&同意書 6.ジェルネイルを安全に楽しむために) 7.口述確認 8.売上表1. 2 目標:サロンワーク相モデル練習(来週)までに接客用語を覚えてくる サロンワークのルーティンを把握する コンテスト作品制作 デッサン デッサンをもとにジェルアートピンポイント練習 (ブラクティスハンド用チップ コンテスト用ロングチップ) 目標:反復練習をして丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる	小テスト2点
10	フット 角質除去&トリートメント 用具の消毒 【到達目標】 手順を覚え実践できている ペディキュアファイルの使用方を理解し実践できている トリートメントの手法を覚える 消毒方法を理解し、実践できている	小テスト2点
11	フット ジェルオン セラミックブッシャー使用 (相モデル) ◆プレパレーション(15分) ◆ジェルワンカラー10本+根本ストーン1本(35分) 【到達目標】 接客用語を使用して施術ができる セラミックブッシャーの使用方を把握し、安全に扱うことができる 時間内に収めることができる	小テスト2点
12	フット ジェルオフ オン (相モデル) ◆オフ(30分) ◆プレパレーション(15分) ◆ジェルワンカラー10本+根本ストーン1本(35分) 【到達目標】 接客用語を使用して施術ができる 時間内にオフができる セラミックブッシャーの使用方を把握し、安全に扱うことができる 時間内に収めることができる	小テスト2点
13	マシン ◆セッティング、説明 ◆マシンオフ (ブラクティスハンド) ◆マシンプレパレーション(自爪) ◆マシンオフ (自爪) ◆マシンオフ (相モデル) 【到達目標】 マシン、ビットの使用方を把握し、安全に扱うことができる	小テスト2点

14	マシン ◆フィルイン（ブラクティスハンド） ◆カットストーンアート&マシンオフ（ブラクティスハンド） ◆カットストーンアート&マシンオフ（相モデル） 【到達目標】 マシン、ビットの使用方法を把握し、安全に扱うことができる	小テスト2点
15	ジェル検定上級 定期試験 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差し指・中指 目標：時間内に収め、合格ラインに達している	定期試験60点
【特記事項】 4月16日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日 4月17日(日)ネイリスト技能検定試験2級試験日 7月16日(土)ネイリスト技能検定試験2級試験日 5月21日(土)ジェルネイル検定初級・中級試験日 9月10日(土)or11日(日)ジェルネイル検定中級・上級試験日 【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名 (英)	ジェルネイル演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	戸川智尋 橋本勇人
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜・1～3時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリストとして24年間、店長、スタッフ育成、人事などにたずさわリ、スクール講師としても20年以上勤めてきました。 この経験を生かしこれから皆さんが学ぶネイルの基礎知識から専門知識を伝えジェル検定合格までをサポートしていきます！ スクールでのネイルの教育に20年以上携わってきました。 現在はサロンの研修所での教育にも携わっています。 日本ネイリスト協会常任本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管経験、JNAジェルネイル検定試験管経験を活かし、合格へ繋がる検定試験の専門知識と専門技術をお伝えします。 概要: この科目では ジェルネイル技能検定試験中級を通じてサロンワークに必要な専門の技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級を通じてサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し時間内に収める ネイリスト技能検定試験2級を通じてサロンワークで通用するネイルケア、リペア、チップ装着、アートの技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ネイリスト技能検定試験1級を通じてサロンワークに必要なイクステンション、リペア、アートの総合的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける							
【授業を通じての到達目標】							
ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる アートを繊細に仕上げるができる 時間内に施術ができ、合格ラインに達している							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	シラバス、コマシラ読み合わせ ネイリスト技能検定試験 2級、1級 検定対策 タイムトライアル 仕込み30分 2級: ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題: ケア【35分】 ◆第二課題: チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級: トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中薬指 ◆左手スカルプチュア5本 ◆(アート右手人差し指)【150分】 目標: 2級1級ともに時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できていて実践できる						
2	ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標: ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する						
3	ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標: ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する						
4	ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標: ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはムラなくラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する					小テスト2点	

5	ジェルネイル技能検定試験中級 検定対策1日目 要項説明・過去問題配布 タイムトライアル 第一課題30分(相モデル) ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ※2級合格者は免除 第二課題85分(トレーニングハンド) 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはムラなくラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 合格ラインで時間に収めることができる	中間テスト20点
6	◆コンテスト練習 イラスト(ノートに鉛筆でデッサン)目・唇・顔の輪郭の練習 ◆コンテスト作品作成 テーマに沿ってデッサンでデザインを決める 目標:イラストではバランスの取り方を覚え実践できる デザインは繊細且つ大胆に構成する	小テスト2点
7	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト2点
8	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける	小テスト2点
9	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる ブラシワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	小テスト2点
10	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差し指・中指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト2点
11	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差し指・中指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける ブラシワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	小テスト2点
12	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差し指・中指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける ブラシワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	小テスト2点

13	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標: プランワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける プランワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	小テスト2点
14	ジェル検定上級 練習 タイムトライアル トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標: プランワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける プランワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	小テスト2点
15	ジェル検定上級 定期試験 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標: 時間内に収め、合格ラインに達している 定期試験のテスト用紙に記載がある内容通りに施術が出来ている	定期試験60点
【特記事項】 4月16日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日 4月17日(日)ネイリスト技能検定試験2級試験日 7月16日(土)ネイリスト技能検定試験2級試験日 5月21日(土)ジェルネイル検定初級・中級試験日 9月10日(土)or11日(日)ジェルネイル検定中級・上級試験日		
【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名 (英)	ミックスメディア演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小峰奈々 戸川智尋
		授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース					曜日・時間	金曜・1, 2時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイルスクール卒業後ネイルサロンで実務経験を積み店長業務を経てネイルの講師としてネイル業界に携わっています。 ネイリスト歴20年。 ジェルネイルが流行る前からネイルサロンでジェルネイルを導入していたためスタッフへの教育はもちろん、講師業で培ったジェルネイルの技法、ジェルメーカーのエデュケーター活動(セミナー開催など)の経験を活かし皆さんにジェルネイルの知識と技術をお伝えします。 また趣味で数々のアクリルを中心としたコンテストに出場し入賞をしてきた技術を理論を交えお伝えします。 13年の講師経験を生かしわかりやすいように研究を重ねて参りました。 ネイリストとしての基本的な姿勢、所作にまでこだわって授業でお伝えしています。検定試験合格へのポイントも細かくお伝えしています。 スクールでのネイルの教育に20年以上携わってきました。 現在はサロンの研修すべての教育にも携わっています。 日本ネイリスト協会常任本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管経験、JNAジェルネイル検定試験管経験を活かし、合格へ繋がる検定試験の専門知識と専門技術をお伝えします。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではネイルサロン、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わってきました。 様々な経験を活かし、将来皆さんがネイリストとして働く際に役に立つサロンワークで実践できる技術、知識をコンテスト作品を通じてお伝えします。							
概要: この科目では コンテストを通じて様々なジェルアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける ジェルネイル技能検定試験中級ではサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し時間内に収める							
【授業を通じての到達目標】							
コンテスト、卒業制作を通じて、様々なデザインの模倣から独自のデザインを生み出すことができ、サロンワークに活用できるようになる ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる アートを繊細に仕上げるができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	コンテスト練習 アクリル エンボス 丸花 丸花(プレス) 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる						
2	コンテスト練習 アクリル エンボス ハート2種 尖り花&リフ 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる						
3	コンテスト練習 アクリル 3D 花 巻きバラ 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる						
4	ジェルネイル技能検定試験中級 検定対策 ビンポイント練習 第一課題30分(相モデル) ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ※2級合格者は免除 第二課題85分(トレーニングハンド) 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはムラなくラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 合格ラインで時間内に収めることができる						中間テスト 20点
5	コンテスト練習 アクリル 3D 花 巻きバラ 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる						小テスト2点
6	コンテスト練習 トールペイント (ジェル 絵の具) グラデーションフラワー 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる						小テスト2点
7	コンテスト練習 トールペイント (ジェル 絵の具) マーガレット 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる						小テスト2点
8	コンテストチップ 作成 【到達目標】 バランスよく色彩豊かであること 丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる						小テスト2点
9	コンテストチップ 作成 【到達目標】 バランスよく色彩豊かであること 丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる						小テスト2点
10	コンテストチップ 作成 【到達目標】 バランスよく色彩豊かであること 丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる						小テスト2点
11	コンテストチップ 作成 【到達目標】 バランスよく色彩豊かであること 丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる						小テスト2点
12	コンテストチップ 作成 【到達目標】 バランスよく色彩豊かであること 丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる						小テスト2点
13	コンテストチップ 作成 【到達目標】 バランスよく色彩豊かであること 丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる						小テスト2点
14	コンテストチップ 作成 【到達目標】 バランスよく色彩豊かであること 丁寧に繊細に且つダイナミックに仕上げる						小テスト2点
15	ジェル検定上級 定期試験【85分】 ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる ファイルの角度、順番、支え等を覚え、効率的に表面が繋がるようにファイリング～シャイニングができる 時間内に収め、合格ラインに達している 定期試験のテスト用紙に記載がある内容通りに施術が出来ている						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
4月16日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日 4月17日(日)ネイリスト技能検定試験2級試験日 7月16日(土)ネイリスト技能検定試験2級試験日 5月21日(土)ジェルネイル検定初級・中級試験日 9月10日(土)or11日(日)ジェルネイル検定中級・上級試験日				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	フォトコンテスト演習	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 1年次の学びを活かし、作品を撮影する							
【授業を通じての到達目標】 魅力ある作品の取り方を学び、発表する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業単元】コンセプト作成及び仕込み 【到達目標】 ・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む・コンセプトシートを基に、反復練習を行い仕上げるができる						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	授業単元】撮影・作品選択 【到達目標】 作品を仕上げ、撮影の方法を学び、実際に撮影する						
10							
11							
12							
13							
14							
15						100点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A 評価 (90～100点) / B 評価 (80～89点) / C 評価 (70～79点) D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) / F 評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル総合演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小峰奈々 戸川智尋
		授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース					曜日・時間	水曜・1. 2時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイルスクール卒業後ネイルサロンで実務経験を積み店長業務を経てネイルの講師としてネイル業界に携わっています。ネイリスト歴20年。 サロンワークで経験した事をネイリスト、店長目線でのみなさんのサロンワークに役立つよう接客、技術面を中心にお伝えします。 また趣味で数々のアクリルを中心としたコンテストに出場し入賞してきた技術を理論を交えお伝えします。13年の講師経験を生かし初心者でもわかりやすいように研究を重ねて参りました。ネイリストとしての基本的な姿勢、所作にまでこだわって授業でお伝えしています。検定試験合格へのポイントも細かくお伝えしています。 スクールでのネイルの教育に20年以上携わってきました。 日本ネイリスト協会常任本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管経験、JNAジェルネイル検定試験管経験を活かし合格へ繋がる検定試験の専門知識と専門技術をお伝えします。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではネイルサロン、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わってきました。 現在はサロンの研修所での教育にも携わっています。 様々な経験を活かし、将来皆さんがネイリストとして働く際に役に立つ、サロンワークで実践できる技術、知識をお伝えします。							
概要: この科目では ジェルネイル技能検定試験中級を通じてサロンワークに必要な専門的技術と知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し時間内に収める ネイリスト技能検定試験2級ではサロンワークに必要なケア、カラー、リペア、アートの基本的技術と知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ネイリスト技能検定試験1級ではサロンワークに必要なイクステンション、リペア、アートの総合的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける コンテストを通じて様々なジェルアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける							
【授業を通じての到達目標】							
ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる アートを繊細に仕上げることができる コンテスト練習を通して様々なデザインの模倣から独自のデザインを生み出すことができる ブラシワークを模倣しによって修得し、イクステンション形成、アートを施すことができる ジェルチップオーバーレイとデザインの手順を覚え、実施することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	シラバス、コマシラ読み合わせ ネイリスト技能検定試験 2級、1級 検定対策 ビンポイント練習 2級: ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題: ケア【35分】 ◆第二課題: チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級: トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 目標: 2級1級ともに時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できていて実践できる						
2	アクリルデザインスカルプチュア ラメグラデーション メタリック (ポイント5～10m) アクアソーダ (スクエアオフ10m) 【到達目標】 ラメパウダーとクリアアクリルパウダークリアの配合量と強度の関係を修得する ラメパウダーとクリアアクリルパウダークリアを混ぜてアクリルラメパウダーを作成し実施できる						
3	アクリルデザインスカルプチュア ラメグラデーション/エンボス埋め込み(スクエアオフ10mm) 【到達目標】 ラメグラデーション(アクアソーダ)でグラデーションを施しアクリルエンボスのフラワーを埋め込む方法を修得し実践できる						
4	フレンチスカルプチュア 【到達目標】 フレンチのブラシワークを模倣し、正しいアプリケーションを修得する						小テスト2点
5	ジェルネイル技能検定試験中級 検定対策 ビンポイント練習 第一課題30分(相モデル) ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ※2級合格者は免除 第二課題85分(トレーニングハンド) 目標: ピングラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはもうなくラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 合格ラインで時間内に収めることができる						中間テスト20点
6	フレンチスカルプチュアor 1級練習 2級: ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題: ケア【35分】 ◆第二課題: チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級: トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中薬指【40分】◆左手スカルプチュア5本【100分】 ◆(アート右手人差し指)【20分】 【到達目標】 フレンチのブラシワークを模倣し、正しいアプリケーションを修得する 2級1級ともに時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できていて実践できる						小テスト2点
7	コンテスト デザインor 1級練習 2級: ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題: ケア【35分】 ◆第二課題: チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級: トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる						小テスト2点
8	コンテスト デザインor 1級練習 2級: ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題: ケア【35分】 ◆第二課題: チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級: トレーニング、ハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる						小テスト2点
9	コンテスト デザインor 1級練習 2級: ※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題: ケア【35分】 ◆第二課題: チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級: トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる						小テスト2点

10	コンテスト デザインor 1級練習 2級：※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題：ケア【35分】 ◆第二課題：チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級：トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト2点
11	コンテスト デザインor 1級練習 2級：※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題：ケア【35分】 ◆第二課題：チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級：トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト20点 2点
12	コンテスト デザインor 1級練習 2級：※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題：ケア【35分】 ◆第二課題：チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級：トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト20点 2点
13	コンテスト デザインor 1級練習 2級：※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題：ケア【35分】 ◆第二課題：チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級：トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト20点 2点
14	コンテスト デザインor 1級練習 2級：※モデル同伴可能 もしくは相モデル ◆第一課題：ケア【35分】 ◆第二課題：チップラップ左手中指、カラー赤・(アート右手中指)【55分】 1級：トレーニングハンド アクリル◆チップオーバーレイ右手中人差し指【40分】◆スカルプチュア左手5本【100分】 ◆(アート右手薬指)【20分】 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト20点 2点
15	ジェル検定上級 定期試験 ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ジェルクリアスカルプチュア 右手中人差し指・中指 【到達目標】 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる ファイルの角度、順番、支え等を覚え、効率的に表面が繋がるようにファイリング～シャイニングができる 時間内に収め、合格ラインに達している 定期試験のテスト用紙に記載がある内容通りに施術が出来ている	定期試験60点
【特記事項】 4月16日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日 4月17日(日)ネイリスト技能検定試験2級試験日 7月16日(土)ネイリスト技能検定試験2級試験日 5月21日(土)ジェルネイル検定初級・中級試験日 9月10日(土)or11日(日)ジェルネイル検定中級・上級試験日		【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	エステティック理論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティ科エステ専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30(2)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日・2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
AEA及びAJESTHE認定講師の資格を持ち、筆記試験に合格できるポイントを指導していきます。筆記問題集の内容を理解できるよう解説していきます。目的:筆記試験に合格できる必要な知識を学ぶ 概要:理論を項目ごとに解説し不足している知識を強化していく。							
【授業を通じての到達目標】							
AEA上級認定エステティシャン筆記試験の合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA問題集、AEA教科書							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	AEA筆記試験について、 1－1エステティック概論、1－2 東洋西洋セラピー						
2	2 皮膚科学(1～81)					小テスト 4点	
3	2 皮膚科学(82～149)						
4	3－1 解剖生理学(1～69)					小テスト 4点	
5	3－1 解剖生理学(70～129)						
6	3－2 心身生理学						
7	中間テスト 4－1 ボディ実技理論					中間テスト 20点	
8	4－2 運動生理学、5－1 フェイシャル実技理論						
9	5－2 化粧品学					小テスト 4点	
10	6 栄養学						
11	7－1 エステティックカウンセリング、7－2 エステティック電気学機器類					小テスト 4点	
12	8－1 サロンマネジメント、8－2 エステティック関連法規						
13	9－1サロンでの救急法、					小テスト 4点	
14	10 美容脱毛額、復習						
15	定期試験					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	フェイシャル演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小池 千絵
学科・コース		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日1・2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国内外のエステティックの資格を保有し、複数の都内専門学校にてエステティックの授業を受け持つ講師が日本エステティック業協会・日本エステティック協会の実技試験に合格するための技術・知識を身につける							
【授業を通じての到達目標】							
モデルの肌質・肌の状態が理解でき、悩みの原因などを分析することができる 実技試験に合格できるスキルを身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
新エステティック学 実技編Ⅰ AEAテキスト(フェイシャル実技理論) 実技準備物一式				コンサルテーションシート作成 1年時に学んだ理論を復習する			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	オリエンテーション(AEA上級認定エステティシャン実技試験概要確認) フェイシャルマッサージ手技確認						
2	AEA実技試験対策 マッサージ技術練習 コンサルテーションシート作成説明						2点
3	AEA実技試験対策 マッサージ技術練習 コンサルテーションシート作成説明						2点
4	AEA実技試験対策 マッサージ技術練習 バック塗布練習						
5	クレンジング～コンサルテーション～マッサージ～バック～整肌の一連の流れを時間内にできる						2点
6	クレンジング～コンサルテーション～マッサージ～バック～整肌の一連の流れを時間内にできる						
7	【中間試験】 クレンジング～コンサルテーション～マッサージ～バック～整肌の一連の流れを時間内にできる						20点
8	アジャステ上級エステティシャン実技試験対策 ディープクレンジング(粒子あり) コンサルテーション技術の向上						2点
9	アジャステ上級エステティシャン実技試験対策 ディープクレンジング(粒子なし) コンサルテーション技術の向上						
10	アジャステ上級エステティシャン実技試験対策 ディープクレンジング(酵素・スチーマー) コンサルテーション技術の向上						2点
11	アジャステ上級エステティシャン 実技ディープクレンジング(ブラシ) コンサルテーション技術の向上						
12	アジャステ上級エステティシャン実技 ディープクレンジング(吸引) 全体的な技術力の向上						2点
13	アジャステ上級エステティシャン実技 ディープクレンジング(デイスインクラステーション) 全体的な技術力の向上						
14	アジャステ上級エステティシャン実技対策 試験の流れを時間内に行うことができる						
15	定期試験 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～マッサージ～バック～仕上げ						60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ボディ演習	必修選択	必須	年次	2	担当教員	佐野みゆき・福岡佐智代
学科・コース	トータルビューティ科エステ専攻	授業形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分曜日・時間	前期 水曜日
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
AJESTHE上級認定エステティシアン認定指導講師の資格を持ち、登録試験管としても資格試験に携わっています。皆さんが実技試験に合格する為に必要な専門知識やサロン現場で使える実践を交えた内容でお伝えしていきます。 目的：AEA上級認定エステティシアン、AJESTHE上級認定エステティシアン実技試験に合格できる為に必要な知識を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
AEA上級認定エステティシアン、AJESTHE上級認定エステティシアン実技試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
新エステティック学(実技編)							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	AEA実技試験の内容確認・全身マッサージ復習						
2	ボディ機器確認・復習(サクション・パイプレーション)機器を正しく扱う						小テスト 4点
3	ボディ機器確認・復習(サクション・パイプレーション)機器を正しく扱う						
4	ボディ機器確認・復習(EMS)機器を正しく扱う						小テスト 4点
5	ボディ機器確認・復習(EMS)正しい筋肉位置にパッティングができる						
6	ボディ機器確認・復習(EMS)禁忌事項・注意点の把握						
7	中間試験(ボディ機器EMS)						中間試験 20点
8	採寸・ボディチェックについて						
9	体型・お悩みに沿った機器選び・マッサージ						小テスト 4点
10	体型・お悩みに沿った機器選び・マッサージ						
11	体型・お悩みに沿った機器選び・マッサージ						小テスト 4点
12	AEA試験内容(正しい姿勢・時間管理・口頭試問)						
13	AEA試験内容(正しい姿勢・時間管理・口頭試問)						小テスト 4点
14	AEA試験内容(正しい姿勢・時間管理・口頭試問)						
15	定期試験(AEA実技試験内容)						定期試験 60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			

科目名 (英)	資格対策実技	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	内藤/福岡
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期 月曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
AEA及びAJESTHE認定講師の資格を持ち、登録試験官として専門学校、また、一般受験の資格試験に携わっています。AEA上級認定エステティシャン、AJESTHE上級認定エステティシャンの実技試験のワックス技術科目、その他コンサルテーションにおける、知識やアドバイスを強化しを合格に導いていきます。目的:資格試験合格のためのポイントを学ぶ 概要:各試験項目を時間内に対応でき、また各授業内で不足している知識や技術を見直していく。							
【授業を通じての到達目標】							
AJESTHE上級認定エステティシャンWAX脱毛実技試験合格、AEA上級認定エステティシャン及びAJESTHE上級認定エステティシャンフェイシャル・ボディ実技試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA教科書・AJESTHE教科書							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ワックス脱毛について (理論・準備物)						
2	ワックス脱毛(理論・実践)					小テスト 4点	
3	ワックス脱毛(理論・実践)						
4	ワックス脱毛					小テスト 4点	
5	ワックス脱毛						
6	ワックス脱毛						
7	中間テスト ワックス脱毛					中間テスト 20点	
8	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)						
9	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)					小テスト 4点	
10	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)						
11	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)					小テスト 4点	
12	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)						
13	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)					小テスト 4点	
14	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)						
15	定期試験					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	サロン演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小野ありさ 福岡佐智代
学科・コース	トータルビューティ科 エステコース	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期 【木】1限2限
サロンワークを通じてエステティシャンとしての職業を体験し、働くイメージを持つことができるようになる サロン開設のシュミレーションを通じてメニューの考案、金額設定、顧客のニーズを知る 顧客管理の必要性を学び、カルテ管理やカウンセリングの実践ができるようになる (※エステティシャンであり、店長として店舗運営を経験した講師、エステティック講師エステティシャンとして長年経験し現在数多くのお客様方のケアをしている講師による授業である)							
【授業を通じての到達目標】							
サロンワークを通じて、サロン運営の仕組みを知り、エステティシャンの仕事の内容を理解し、実践することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEAサロンマネジメント、その他毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	エステティックサロンの業務を学び、エステティシャンという職業を知る						
2	カウンセリングの流れ、種類を学ぶ					小テスト5点	
3	様々なトリートメントを学ぶ						
4	様々なトリートメントを学ぶ					小テスト5点	
5	様々なトリートメントを学ぶ						
6	様々なトリートメントを学ぶ						
7	様々なトリートメントを学ぶ					中間試験20点	
8	サロンオープンへ向けて準備						
9	サロンオープンへ向けて準備					小テスト5点	
10	サロンオープンへ向けて準備						
11	プレオープン					小テスト5点	
12	プレオープンの反省・振り返り						
13	メニュー練習(相モデル)					小テスト5点	
14	サロンオープン						
15	サロン営業					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッション総合演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前嶋 直哉、 緑川 有香
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界で就業後の店舗運営に必要な知識(MD、VMD、マーケティング、リサーチなど)の理解をし、マーケティング実践できるようになる							
※講師:エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション業界の第一線で働くための、店舗運営に関わるマーケティング施策(SNSの活用やシーズン毎のスケジュール管理など)を理解し習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・授業毎にプリントを配布				店舗見学、校外リサーチ実習			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	・各ファッション企業のマーケティング活動の理解とSNSの活用について知る ・シーズン毎のスケジュールを組み立て、SNS活動へ反映させる						
2	・SNS発信の為のスケジュールの組み立てと、シーズンスタイリングの構築(4月)						
3	・SNS発信用のスタイリング撮影とテキスト作成(ブランドアカウントからテキストをリサーチし作成する)						
4	・実際に組み立てたテキストの添削と、撮影写真の統合、SNS投稿					10点	
5	・SNS発信の為のスケジュールの組み立てと、シーズンスタイリングの構築(5月)						
6	・SNS発信用のスタイリング撮影とテキスト作成(ブランドアカウントからテキストをリサーチし作成する)						
7	・実際に組み立てたテキストの添削と、撮影写真の統合、SNS投稿					10点	
8	・SNS発信の為のスケジュールの組み立てと、シーズンスタイリングの構築(6月)						
9	・SNS発信用のスタイリング撮影とテキスト作成(ブランドアカウントからテキストをリサーチし作成する)						
10	・実際に組み立てたテキストの添削と、撮影写真の統合、SNS投稿					10点	
11	・SNS発信の為のスケジュールの組み立てと、シーズンスタイリングの構築(7月～端境期)						
12	・SNS発信用のスタイリング撮影とテキスト作成(ブランドアカウントからテキストをリサーチし作成する)						
13	・実際に組み立てたテキストの添削と、撮影写真の統合、SNS投稿					10点	
14	・シーズン立ち上がりのマーケティング活動におけるSNS発信について、ショップリサーチ						
15	定期テスト(マーケット・リサーチのプレゼン)					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションメイキング	必修選 択	必修	年次	2	担当教員	若井 リサ
		授業形 態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	TB					曜日・時間	火曜日 3・4限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
スタイリストとして、企業広告、各種雑誌、雑貨・インテリアのコーディネート他、アーティストの衣装製作とスタイリング、企業グッズデザイン、プロデュース、ディレクション等、活動の幅が多岐にわたる講師が各現場で必要な洋裁の基本技法を教え、洋服の構成、バックヤードに於ける 裾上げ・袖の調整などの微調整技術と知識を得ることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
洋裁手縫いの技法を組み合わせ、小物作品を仕上げる。撮影時や接客時に必要な知識と技法を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
生地、裁縫道具などの準備については、適宜事前に連絡します							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	4/12 手縫いの基本①: なみ縫い・まつり縫い・返し縫い2種 ☆シーチング生地、縫い針、糸、ハサミ						出席状況、実技確認
2	4/19 手縫いの基本②: 前回の仕上げ (小テスト)						5
3	4/26 衣類の裾上げ (私物のお直し→アイロンかけ)						出席状況、実技確認
4	5/10 衣類の裾上げ (まつり縫い・私物のお直し→アイロンかけ)						出席状況、実技確認
5	5/17 小さな熊の縫いぐるみ (なみ縫い・返し縫い) ☆シーチング生地・中綿						出席状況、実技確認
6	5/24 小さな熊の縫いぐるみ (なみ縫い・返しぬい)						出席状況、実技確認
7	5/31 中間テスト						20
8	6/14 キャミソールとコースター用の生地買い出し ★コットンプリント(キャミソール用、コースター用)、パイアステープ						
9	6/21 キャミソール製作①						出席状況、実技確認
10	6/28 キャミソール製作②						5
11	7/5 コースターまたは鍋つかみの製作① (手縫いの基本技法全て使用) ☆キルト綿、しつけ糸、パイアステープ						出席状況、実技確認
12	7/12 コースターまたは鍋つかみの製作②						出席状況、実技確認
13	8/23 コースターまたは鍋つかみの製作③						出席状況、実技確認
14	8/30 コースターまたは鍋つかみの製作③						出席状況、実技確認
15	9/6 定期試験						60
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	販売ロールプレイⅡ (Sales roll play)	必修選択	必修	年次	2	担当教員	緑川 有香
学科・コース	TB科ファッションコース	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	前期 毎週木曜日 3限4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
販売員から販売営業マネジメントの経験を経た講師からスタイリング方法やお客様へのお声がけ、購買心理の変化などの基礎知識を学べる。 また、プレイヤーとして実際にロールプレイコンテスト受賞実績のある講師から接客のノウハウだけでなく、お客様のリアルな声をもとに必要な知識や心構えを得ることが出来る。							
【授業を通じての到達目標】							
・お客様の心理を理解し、心理状況や要望に合わせたスタイリングを提案できるようになる。 ・販売員に求められる実務的な業務スキルを身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・授業内容により資料を配布 ・ロールプレイング大会DVD				・映像鑑賞 ・ショップリサーチ ・実店舗での接客体験			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【接客体験】 ⇒実店舗にて実際に接客体験をすることで、接客の流れやトレンドの流れを掴む。						
2	【接客体験報告】 ⇒接客体験の報告/ディスカッション。改善点や自身の接客への活かし方などを見出す。					5	
3	【購買心理8段階】 ⇒お客様の心理に沿った接客の流れを考える。自身の体験から接客の良さ悪しについて考える。						
4	【所作研究】 ⇒接客販売に求められる丁寧で美しい所作を研究し、身につける。ブランド/土地/客層の違いについての理解を深める。					5	
5	【商品知識向上トレーニング】 ⇒商品説明をするうえで必要不可欠な商品知識を身につける。商品のメリットについて考える。						
6	【提案力向上トレーニング】 ⇒接客提案をする上で必要な知識、接客行動を理解し、提案力向上に繋げる。						
7	【中間テスト】 ⇒実技演習：ロールプレイ演習					20	
8	【傾聴トレーニング】 ⇒接客においても重要度の高い傾聴について、トレーニングを行い、より高いスキルを身につける。						
9	【話し方トレーニング】 ⇒お客様に伝わりやすい提案が出来るようになるために、話し方のトレーニングを行いより高いスキルを身につける。正しい言葉遣いを身につける。						
10	【クロージングトレーニング】 ⇒商品決定にかかるクロージング、レジでの接客行動を学び、決定率向上、再来店意欲の増進が出来るようになる。					5	
11	【仕事の流れ】 ⇒出勤してから退勤するまでの1日の流れについて。販売以外の業務についても知る。						
12	【比較検討】 ⇒類似商品を用いて、それぞれのメリットピックアップを行う。どちらがよりお客様の要望に沿っているか比較検討し、購買に繋がるまでのプロセスを学ぶ。						
13	【接客体験】 ⇒実店舗にて接客を受け、自身が販売員に求める接客スキルや対応を評価する。客観視することで自身の接客スキルを見直す。					5	
14	【ロールプレイ総合】 ⇒接客の改善点などを考慮し、ロールプレイを実践、振り返りまでを行う。						
15	【定期試験】 ⇒実技試験：ショップ運用/ロールプレイ演習					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Fashion business ファッションビジネス	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前嶋 直哉
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の第一線で活躍するための店舗運営に必要な知識(MD、VMD、マーケティング、リサーチなど)の理解をし、実践できるようになる							
※講師:エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション業界の第一線で働くための、店舗運営や企業就業に必要な基本的な知識(MD、VMD、マーケティング、リサーチ)を理解し習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・授業毎にプリントを配布 ・販売能力検定2教科書				店舗見学、校外リサーチ実習			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	MDの基本的な業務内容の理解と、それに付随する商品企画や店舗作りの理解						
2	シーズン毎のMD計画の立て方の理解と、予算からのMD計画、商品価格設定の考え方の習得						
3	VMDの基本的な業務内容の理解と、それに付随する店舗作りや商品の見せ方の理解 商品陳列の基本(VP、IP、PP)について理解し、訴求力を高める展開方法を習得						
4	シーズンMD(通年、半期、シーズン、月毎)の計画の立て方とVMDカレンダーとの連動の理解①						
5	シーズンMD(通年、半期、シーズン、月毎)の計画の立て方とVMDカレンダーとの連動の理解②						
6	シーズンMD(通年、半期、シーズン、月毎)の計画の立て方とVMDカレンダーとの連動の理解③						
7	中間テスト(MD基礎、VMD基礎)					40点	
8	マーケティングの基本知識の理解と、マーケットリサーチ内容とニーズやトレンドの調査方法についての理						
9	コレクションブランドからトレンドを読み取る (5大コレクションからファッショントレンド、マーケット調査を行い、プレゼンテーションまでの仕方を理解)						
10	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成① (グループに分かれてリサーチ店舗の決定と、リサーチ内容の話しあい)						
11	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成② (ショッピングリサーチを行い、実際のマーケットをリサーチ)						
12	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成② (ショッピングリサーチを行い、実際のマーケットをリサーチ)						
13	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成③ (リサーチ内容からプレゼンテーション資料作成)						
14	店舗比較のリサーチ方法の理解とプレゼンテーション資料の作成③ (リサーチ内容からプレゼンテーション資料作成)						
15	定期テスト(マーケット・リサーチのプレゼン)					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	セルフブランディング演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	矢澤 勇
学科・コース	TB科ファッション専攻	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教え、またスタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントとしても活躍できる知識を得ることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
お客様にあったスタイリングを提案し的確なコーディネートを組み立てることができる。また、スタイリングについての理解を深め実践出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント資料 洋服教材				店舗見学 撮影演習			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	ベーシックコーディネート①						
2	ベーシックコーディネート②						
3	トレンドコーディネート①					5点	
4	トレンドコーディネート②						
5	TPO別コーディネート						
6	テストにむけて (ステイリングチェック、プレゼンチェックなど)					5点	
7	テスト					20点	
8	↑ ショップリサーチ						
9	リースショップリサーチ						
10	↓トレンドアイテムリサーチ						
11	Needsとwants別コーディネート①					5点	
12	Needsとwants別コーディネート②						
13	年代別コーディネート						
14	テストにむけて (ステイリングチェック、プレゼンチェックなど)					5点	
15	テスト					60点	
				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価			

科目名 (英)	ファッションIT演習 (Fashion IT exercises)	必修 選択		年次	2年次	担当教員	TFL (Avail 山下)
学科・コース	ータルビューティー科・ファッションコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30コマ	開講区分	前期 月曜日 1・2限
		【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)					
東京ファッションテクノロジーラボ(TFL)は、2017年の設立以来ファッションとテクノロジー・CG・映像など複数領域の知見を組み合わせた教育を展開し、さらにテクノロジーの産業活用を研究するAI・バーチャルファッション・デジタルツインなどの学内の研究会で得られた新技術やノウハウを、教育カリキュラムとして人材育成に還元しています。 このTFLの教育ノウハウを活用し、今後増大するDX(デジタルトランスフォーメーション)化推進のニーズに対応した人材を育成していきます。 目的:ファッション3Dモデリングスキルを習得し、業界の川上から川下まで、様々な場面で人材ニーズの多いDX対応人材を育成する。 概要:ファッション3DCADソフト「Browzwear」を活用し、2Dパターン(型紙)データ・テクスチャ(生地表面質感/生地物性)データから、ファッションアイテムのCG作成、3DCGでのスタイリング、ECサイトのささげ代替可能な精緻なファッション3DCGを作成するスキルを習得し、学生のキャリア形成の可能性を広げ、業界の発展に寄							
【授業を通じての到達目標】							
Browzwearの基本操作習得と軽衣料(SS商材)の形状仕上げ オリジナルデザインの3DCGを出力、プレゼンテーションする							
【使用教科書・教材・参考書】			【授業外における学習】				
回		授 業 概 要					テスト配点
1	Brawzwearの基本操作/Tシャツ1:ツール・マウス操作説明/アバター編集/縫い合わせ指示/3D空間での						
2	Tシャツ2:パターン読み込み/被服構造/パターン編集/デザイン修正/グラフィック配置/小テスト					5点	
3	スカート1:スカートの展開/タイトスカート原型/フレアスカート/ギャザースカート/ゴム設定						
4	スカート2:プリーツスカート/プリーツ折り曲げ設定/パターン編集/デザイン修正/小テスト					5点	
5	シャツ1:シャツ・ブラウスのパターン/芯/折り曲げ設定(衿)/前立て/カフス・剣ボロ/タック指示						
6	シャツ2:切り替え・内部線編集/ボタン設定/ファスナー設定/ステッチ指示/レンダリング手順/小テスト					5点	
7	コーディネート作成/着せ付けテクニック・各種ツールの使い方/アバターボーjing						
8	中間テスト:用語と基本操作/ファッション3DCGアワード制作1:デザイン検討/生地検討					20点	
9	ファッション3DCGアワード制作2:3Dモデリング個別制作/生地決め/デザイン・パターン打ち合わせ						
10	ファッション3DCGアワード制作3:3Dモデリング個別制作/パターン作成						
11	ファッション3DCGアワード制作4:3Dモデリング個別制作/生地(テクスチャ・物性)データ取得						
12	ファッション3DCGアワード制作5:3Dモデリング個別制作/中間チェック					5点	
13	ファッション3DCGアワード制作6:個別制作/ブラッシュアップ						
14	ファッション3DCGアワード制作7:個別制作/ブラッシュアップ/レンダリング設定						
15	前期末試験:3DCG作品評価/ファッション3DCGアワード審査会					60点	
【特記事項】				【評価について】			
前期修了時、後期修了時の年2回、外部企業(豊島株式会社)との連携により、ファッション3DCGアワード実施予定 産学案件として学生作品の商品化まで視野に入れた計画を調整中				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名（英）	Official approval measure	必修選択	必修	年次	2	担当教員	緑川 有香
	検定対策	授業形態	講義演習	総時間	30	開講区分	前期
学科・コース	TB科ファッション専攻			（単位）	2	曜日・時間	

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

接客販売トレーニング&コンサルティング事務所の代表を努め、数多くの業態で店舗売り上げ日本一を獲得実績を持つ講師が、デニムのスペシャリストとなるべくジーンズソムリエ取得を目指す。検定のテキストをもとに販売に必要な知識を学習し実際の店頭業務との関連性を理解しながらアウトプットして店頭での実務に繋げることができる

【授業を通じての到達目標】

ジーンズソムリエ取得：デニムの基礎的な知識・歴史を理解することができる

【使用教科書・教材・参考書】

・ジーンズソムリエテキスト

【授業外における学習】

回	授 業 概 要	テスト配点
1	・ジーンズソムリエ検定概要理解、第1章理解 → 試験概要、出題内容確認、ジーンズとは（定義、歴史）	
2	・第2章理解1 → ジーンズの素材、副資材（素材・製法、染色、製織）	
3	・第2章理解2 → ジーンズの素材、副資材（素材・製法、染色、製織）	5
4	・第3章理解1 → ジーンズの構造と縫製、製品（構造、細部、企画・生産、品質管理・検査）	
5	・第3章理解2 → ジーンズの構造と縫製、製品（構造、細部、企画・生産、品質管理・検査）	5
6	・第4章理解 → 洗い加工（加工基礎）	
7	・第5章理解 → ジーンズの小売と製品取り扱い（小売流通、接客販売知識、陳列・管理、取り扱い、サイズ、環境対策）	
8	定期試験 → ジーンズソムリエ仮想試験1	20
9	ジーンズソムリエ検定試験総まとめ1～2章	
10	ジーンズソムリエ検定試験総まとめ3章	
11	ジーンズソムリエ検定試験総まとめ4～6章	
12	検定対策仮試験1	5
13	検定対策仮試験2	
14	検定対策仮試験3	5
15	定期試験 → ジーンズソムリエ仮想試験2	60

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価

A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）

D評価（60～69点）

E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価

科目名 (英)	必修集中授業	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
顧客に対してコンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業単元】コンセプト作成及び仕込み 【到達目標】・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む・コンセプトシートを基に、反復練習を行い仕上げることができる						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	授業単元】コンテスト発表 【到達目標】・コンセプトシートを基に作成する・制限時間内で仕上げるができる 【評価】審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする						
10							
11							
12							
13							
14							
15						100点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A 評価 (90～100点) / B 評価 (80～89点) / C 評価 (70～79点) D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) / F 評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する			